

墨田区子ども・子育て会議に係る会合の傍聴・議事録の公開について

【メリット】

- ①新制度に関する検討状況を広く公開することで、透明性を担保するとともに、進捗状況や今後の予定をスピーディに周知することができる。
- ②新制度に対する区民の関心度を高めることができるとともに、多種多様な意見等を収集する機会が増える。

【デメリット】

- ①傍聴者の目を気にすることにより、委員によっては発言を萎縮してしまい、ひいては活発な議論が展開されにくくなる。
- ②臨時会やグループワーキングは、突発的に開催が決定する場合もあるため、傍聴の周知期間が短くなってしまうケースがある。
＜参考＞墨田区報への掲載原稿の提出期限は発行日の1か月前となっている。
- ③会議においてグループごとに討議を行う場合、その間、傍聴者はどうするのか不明瞭である。
- ④比較的小規模な会場しか確保できなかった場合、傍聴希望者が想定外に多いと、会場内に収容できないケースがある。
- ⑤子ども同伴の傍聴者が増えると、保育士及び保育場所の確保が困難である。

※企画会については、子ども・子育て会議の運営方法等を検討する会議である性質上、従来どおり非公開とする。